

教科	科目	EE	単位	1単位	年次	高校3年
使用教科書	使用教科書はなし					
副教材	使用する副教材はなし					

1. 担当者からのメッセージ (学習方法等)

◆ 「モチベーショングラフ」を用いた過去、「ライフプランシート」を用いた未来、そして「I am シート」と「5why分析シート」を用いた現在の自己分析を行うことにより、自らの進学や職業等における適性を可能な限り客観的に考察する。
その後、自らの進路希望にあわせて面談担当スタッフとの議論を重ねながらレポートを作成し、情報収集能力、コミュニケーション能力、表現力等の育成をはかる。

2. 学習の到達目標

◆ 自らの適性を自己評価、他者評価をもとに考察し、より自律的に進路を選択することができる。
◆ 選択した進路を着実に実現するために、様々な入試形態に対応可能な自己表現の手法を理解し、その上で必要な文書を作成することができる。

3. 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a: 関心・意欲・態度	b: 思考・判断・表現	c: 技能	d: 知識・理解
観 点 の 主 旨	◆ 自らの適性を自己評価、他者評価をもとに考察することができる。	◆ 自己分析シートの特徴を理解し、収集した客観的な指標等も活用して求められた書式に最適な文章等の表現ができる。	◆ 進路選択に必要な情報の収集を行うことができる。	◆ 自己分析シートや求められている書式の特徴を理解し、その作成に獲得した知識を十分に反映することができる。
評 価 方 法	◆ 自己分析シート ◆ レポート	◆ 自己分析シート ◆ レポート	◆ 自己分析シート ◆ レポート	◆ 自己分析シート ◆ レポート

上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4. 学習の活動

月	単元	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
4	自己分析	3種類の自己分析シートを作成し、その内容について面談担当スタッフと個別に議論を行う。					自己分析を行い、自らのこれまでとこれから、そして現在必要なことを可能な限り冷静に考察し、議論することができる。	作成された自己分析シートの評価
5	各生徒の進路に合わせた課題の作成	大学別の志望理由書や学びの設計書などの作成、小論文の作成、フリーエッセイなどから自らの進路実現に適合するテーマを選択し、面談担当スタッフとの議論、添削を重ねながら情報収集能力、コミュニケーション能力、文章や図表などの表現力を学ぶ。	○	○	○	○	◆ 課題作成に必要な情報を収集し、分析、考察し、その結果をもとに面談担当スタッフと議論することができる。 ◆ 自らの考察結果と議論の内容を踏まえて、所定の条件の下でレポートを作成することができる。	作成されたレポートの評価
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
1								
2								
3								

※表中の観点について a: 関心・意欲・態度 b: 思考・判断・表現 c: 技能 d: 知識・理解

※原則として一つの単元 題材 で全ての観点について評価することとなるが、学習内容 小単元 の各項目において重点的に評価を行う観点もしくは重み付けを行う観点 について○を付けている。